

学校だより

令和元年10月4日(金)

No. 25 ※表裏印刷

東又小 校長 中越あかね

Tel : 0880-24-0006

※前回の運動会のは、NO24の間違いでした

4年生 高齢者体験

社会福祉協議会に来て頂き、足に重りを巻き、重りの入ったベストを着て、手袋を3重に重ねて、眼鏡と耳栓をして高齢者体験をしました。身に着けていくにつれてだんだん重くなっていく体にびっくりして「重い〜!!」と言いながら、いろんな体験をしました。果物やお菓子などの買い物をするのに、見えにくい眼鏡をかけているので「これ何?」と目を近づけながら探していました。手袋もやっていてなかなか物が持ちにくく、やっとお目当ての物を探し、今度は財布からお金を出します。財布の中から目当てのお金を探して出すのがまた一苦労です。「あ、これ違う・・・」とお金を財布に戻そうとして下に落としてしまい、落ちたお金を拾うのにまた一苦労していました。

その後、階段を下りて、玄関に行って靴を履いて、脱いだ靴を下駄箱に戻して、また階段を上がって行く体験をしました。上がりながら「なんかもものすごい疲れてきた」と言いながら一段一段気をつけながら上がっていききました。

ジュースのフタを開けたり、アルミ缶のフタを引っ張ったりする、子どもたちにとっては、何でもないような日常生活が、高齢者にとったら本当に大変なのだとことを、身をもって体験しました。これからは、きっと、困っている高齢者を見たら、手助けができる子どもたちになってくれることでしょう。



手袋をするのも一苦労



高齢者の苦労がよく分かったよ。
これからは困っていたら声をかけてあげようと思ったよ。

買い物では探すのも財布からお金を出すのも大変なんだと分かったよ



階段をよっこらしょ!!



靴をはく時も、座り込んで・・・

【高知新聞に載ったよ】

9月14日（土）



タイコムシヤゴのべつめいおどろいた
四万十町東又小3年 池上 友太

9月19日（木）



海のごみへの取り組み
岩本松之助
四万十町東又小6年

8月28日声ひろばで「プラスチックは捨てない」という投書を読んで、ぼくも海にごみを捨てるのはいけない、と思いました。海の生き物が傷つくことなく、よい環境で過ごせることが、よりよい未来への第一歩だと思います。

ぼくは近くの海岸に行ってみました。すると、ペットボトルのごみが落ちていました。また、インターネットで「海洋プラスチック問題」を調べてみると、漁師のあみからまっつて、でき死したカメの写真を見てかわいそうだと思います。

日本はプラスチックの生産は世界3位。しかも海のごみの中で一番多いのはプラスチックだったので、日本製のプラスチックも海をよごしていると思いました。

だからまず、プラスチックをごみ捨て場に捨てることを大切にしたいと思います。少しでも海に落ちるごみが少なくなつてほしいです。

また、漁師さんたちもあみが流されないように気を付けて、捨てる時はきちんと決まった場所に捨ててほしいです。魚が自然の中でほかの魚などに食べられるのは仕方がないと思いますが、人間が出したごみによって傷ついたり、死んだりするのはだめだと思います。

だから、これからはごみを海に捨てないようにしましょう。これを実現するためには一人一人の力が必要です。

9月15日（日）



9月22日（日）



空手のふく、かっこいい
★四万十町・東又小★

たいいくかんで、2年生とおとなたちで空手をしました。おか村先生とき竹ゆうやくんとか村よしはかくんがおしえてくれました。

わたしはからてをぜんぜんしらなかったけど、おしえてもらってなんだかたのしくなってきました。つつけると、なんだかちよつとずつ、ちよつとずつわかつてきました。

さいごに、はくんが空手のふくをきていました。はくんは空手をしているみたいで、かっこいいなあとおもいました。わたしもきてみたいです。

(2年、谷脇来奈記者)